

ELECOM

Wireless Access Point

法人向けマルチメディアコンセント対応 無線LANアクセスポイント

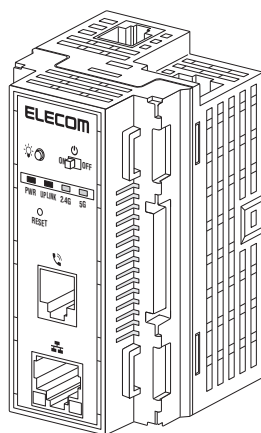
11ac/a/n通信対応

WAB-S733IW-PD

11n/g/b通信対応

WAB-S300IW-PD

User's Manual



このマニュアルは、別冊の「クイックセットアップガイド」とあわせてお読みください。

※本マニュアルは「WAB-S733IW-PD」「WAB-S300IW-PD」の共通マニュアルとなっております。一部表記が実際の表記と異なる場合があります。実際の表記と置きかえてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	無線LANアクセスポイント「WAB-S733IW-PD」「WAB-S300IW-PD」を「本製品」と表記しています。
11ac/11a/11n/11g/11b	IEEE802.11ac規格を「11ac」、IEEE802.11a規格を「11a」、IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」を略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルーター、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線子機」として表記している場合があります。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
 注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本マニュアルは、以下のファームウェアバージョンの製品を基に記載しています。
WAB-S733IW-PD : Ver.1.0.03、WAB-S300IW-PD : Ver.1.0.04
他のバージョンや他の製品では、画面表示や機能が異なる場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきます。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われるかもしれませんが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

法人向けマルチメディアコンセント対応無線LANアクセスポイント

11ac/a/n 通信対応

WAB-S733IW-PD

11n/g/b 通信対応

WAB-S300IW-PD

User's Manual ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムの法人向けマルチメディアコンセント対応 無線 LAN アクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・お客様及び他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何かが禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

**警 告****万一、異常が発生したとき。**

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

**異物を入れないでください。**

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

**落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。**

感電、火災、故障の原因となります。

**水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。**

感電、火災の原因となります。

**分解しないでください。**

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

注 意



通気孔はふさがらないでください。
過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本機器に接続する LAN ケーブルには電気が流れていますので、端末加工を行う場合には必ず給電機器の電源を抜いてください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
- セキュリティ対策の為、工場出荷時より設定された各種 ID やパスワードは任意の値に変更することを推奨します。
- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用することこれらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の 2.4GHz 通信に影響を及ぼすことがあります。
- 2.4GHz 帯使用の無線機器について
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- 電波法により W52、W53 を屋外で使用することは禁止されています。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 概要編 9

1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
エレコムネットワークサポート	11
3 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
本製品の動作環境	13
4 各部の名称とはたらき	14
各部の名称とはたらき	14

Chapter 2 導入編 17

1 本製品を設置する	18
本製品をコンセントボックス内に取り付ける	19
2 本製品と設定用パソコンを接続する	21

Chapter 3 詳細設定編 23

1 設定画面について	24
設定画面を表示する	25
設定画面	27
設定メニューの内容	28
2 設定をするために必要な手順	29
セーブと再起動	29
3 無線設定	30
基本設定	30
SSID プロファイル	32
MAC フィルター	41
詳細設定	33
WPS	35
4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)	37
セキュリティ	39
5 ステータスメニュー	43
システム情報	43
無線クライアント一覧	45
システムログ	46

6 設定メニュー	47
----------	----

LAN 側 IP アドレス	47
---------------	----

7 管理メニュー	49
----------	----

管理者	49
設定を保存 / 復元	50
ファームウェア更新	52
日時	53
ログ	55

Chapter 4 ファームウェア更新手順 56

1 ファームウェア更新	57
-------------	----

ファームウェア更新	57
-----------	----

Appendix 付録編 61

1 基本仕様	62
--------	----

2 SSID/Pre-shared キーに使用できる文字	65
------------------------------	----

Chapter 1

.....

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はご購入の日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については「安全にお使いいただくために」をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載された保証規定をお確かめください。

●その他の質問などに関して

[P11「2 サポートサービスについて」](#)をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

エレコムネットワークサポート

エレコムネットワーク法人サポート

サポート（ナビダイヤル）0570-070-040

月～金 9：00～12：00、13：00～18：00

※夏期、年末年始、特定休業日を除く

※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。お手数ですがNTTの固定電話（一般回線）や携帯電話からおかけくださいますようお願いいたします。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ ネットワーク構成
- ・ ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●壁面に埋め込み設置

壁面に埋め込んで設置・運用できるため、場所をとらずスッキリとした設置が可能です。

●快適な無線 LAN 通信を提供

WAB-S733IW-PD は、最新規格 IEEE802.11ac での無線 LAN 通信に対応しており、近年標準となりつつある有線ギガバックボーンをフル活用できる最大 433Mbps (5GHz・規格理論値) を提供します。11ac 対応無線 LAN 子機との接続で、干渉の少ない 5GHz での超高速スループットを実現、業務効率を大幅に向上できます。また、5GHz と 2.4GHz の同時通信に対応し、最新の 5GHz 対応の無線機器に加え、従来の 2.4GHz 対応の無線機器も同時に接続可能です (最大同時接続台数 50 台 (2.4GHz : 25 台、5GHz : 25 台))。最新規格への移行と既存の無線 LAN 機器の活用を実現します。

WAB-S300IW-PD では幅広い機器で利用可能な IEEE802.11n/g/b 対応で、最大 300Mbps (2.4GHz・規格理論値) の高速無線通信が可能です。最大同時接続台数は 25 台となっており、快適な通信をお楽しみいただけます。

●PoE 受電機能搭載

PoE 受電機能に対応。PoE を使用するので、近くに電源がなくても LAN ケーブルだけで電源を供給でき、効率的にネットワークを構築できます。

※ PoE による受電専用のため、必ず PoE 給電可能な HUB などの機器と併せてご利用ください。AC アダプター等でのご利用はできません。

●マルチ SSID 機能搭載

1 台の無線アクセスポイントで複数の SSID を管理する「マルチ SSID」に対応、様々なセキュリティポリシーを 1 台で実現するため、SSID ごとに認証および暗号方式を設定できます。WAB-S733IW-PD では最大 10 個の SSID (2.4GHz : 5 個、5GHz : 5 個)、WAB-S300IW-PD では最大 5 個の SSID (2.4GHz のみ 5 個) を設定可能です。

本製品の動作環境

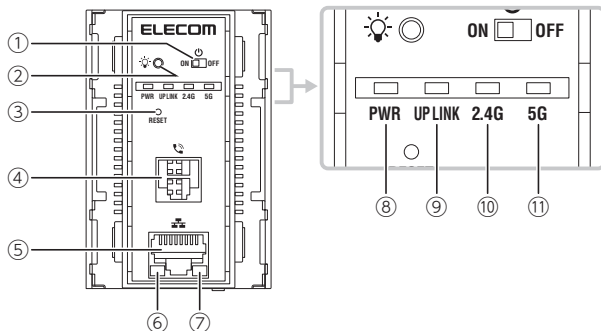
弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応ブラウザ (Web設定画面)	Internet Explorer 11 Chrome ver.23以降 Firefox ver.17以降 Safari ver.5以降 Microsoft Edge 20以降
---------------------	--

4 各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき

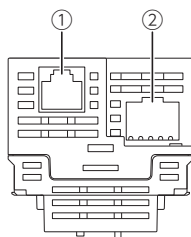
前面



番号	名称	働き
①	電源スイッチ	スライドさせることで、本体の電源を入/切できます。
②	LED点灯スイッチ	本体のLEDが点灯状態の時に約1秒間しっかりと押すと、LEDが消灯します。また消灯状態で約1秒間しっかりと押すと、点灯状態になります。
③	RESETボタン	このボタンを約10秒間押し続けると、本製品の設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。PWRランプが一旦消灯後に再度点灯するまで、電源を切らないでください。
④	電話ポート	RJ11コネクターの電話用モジュラーケーブルを接続可能です。
⑤	LANポート	LAN側のパソコンやネットワーク機器を有線LANで接続します。 ※LANポートには保護キャップを取り付けて出荷しています。LANポート使用時は取り外してご利用ください。
⑥	LANポートLINKランプ (緑色)*	点灯: LANポートに接続されたPC等と接続状態です。 消灯: LANポートに接続されたPC等と未接続状態です。
⑦	LANポートACTIVEランプ (黄色)*	点滅: データ通信中です。
⑧	PWRランプ (青色)*	点灯: 本体の電源が入っており稼働状態です。 消灯: 本体の電源が切れた状態です。
⑨	UP LINKポートランプ (青色)*	点灯: 上位HUBと接続状態です。 点滅: データ通信中です。 消灯: 上位HUBと未接続状態です。
⑩	2.4G WLAN ランプ (青色)*	2.4GHz帯WLAN (11n/g/b) の接続状況を表示します。 点灯: WLANが利用可能な状態です。 消灯: WLANが無効の状態です。
⑪	5G WLAN ランプ (青色)* (WAB-S733IW-PDのみ)	5GHz帯WLAN (11ac/a/n) の接続状況を表示します。 点灯: WLANが利用可能な状態です。 消灯: WLANが無効の状態です。

* LED の点灯様式については、今後のファームウェアアップデートにより、機能追加を行う予定です。

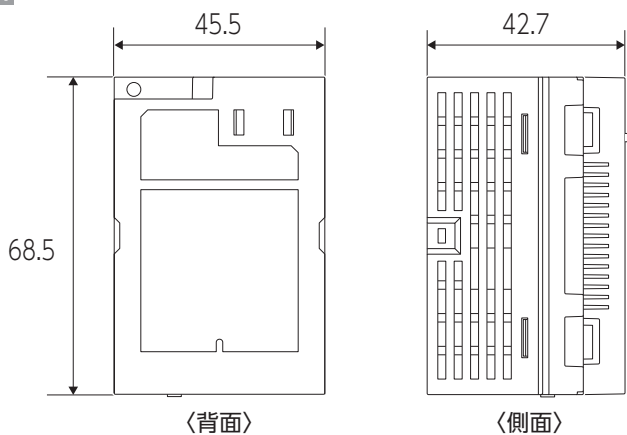
上部



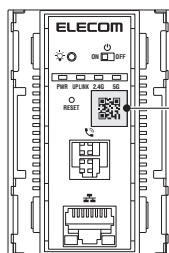
番号	名称	働き
①	電話ポート(本体上部)	RJ11コネクタの電話用モジュラーケーブルを接続可能です。屋内電話配線を接続すると、本体前面の電話ポートが利用可能になります。
②	UP LINKポート	インターネット側などの上位回線を有線LANで接続します。IEEE802.3afによるPoE受電機能に対応します。

寸法図

(単位:mm)



●ラベル貼付け位置



〈本体前面〉

QRコード

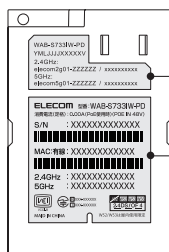


〈読み取れる内容〉

- 型番
- シリアル番号
- SSID/セキュリティキー

SSID/セキュリティキー (WAB-S733IW-PDの場合)

WAB-S733IW-PD
YMLJJJXXXXXV
2.4GHz:
elecom2g01-ZZZZZZ / xxxxxxxxxxxx
5GHz:
elecom5g01-ZZZZZZ / xxxxxxxxxxxx



〈本体背面〉

シリアル番号、MACアドレス (WAB-S733IW-PDの場合)

ELECOM 型番: WAB-S733IW-PD
消費電流(定格): 0.00A(PoE使用時)(PoE IN 48V)
S/N : XXXXXXXXXXXX
MAC:有線: XXXXXXXXXXXX
2.4GHz : XXXXXXXXXXXX
5GHz : XXXXXXXXXXXX
VCCI
MADE IN CHINA
W52/W53は屋内使用限定

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品を接続する方法やパソコンとの接続方法については、本製品に添付の別紙「クイックセットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。

「クイックセットアップガイド」が見つからない場合は、エレコムホームページからもダウンロードできます。

1 本製品を設置する

本製品は、コンセントボックス内に設置することを想定した設計です。

コンセントボックス及び関連配線についての施工が完了していない状態の場合は、別途工事等を行ってください。

以下の内容を満たしていることを確認し、設置してください。

- 壁に本製品を収容可能なコンセントボックスの準備ができています。
- PoE 給電が可能な HUB が、上位 HUB として設置されている。
- 上位 HUB と接続可能な LAN ケーブルが配線されている。
- 電話回線に接続可能なモジュラーケーブルが配線されている。（電話ポート使用時）

※本製品はアクセスポイントです。インターネット接続できるルーター等を上位側にご用意ください。

※インターネット接続用のルーター等を LAN 接続していない状態で本製品の設置を実施ください。本製品設置後にルーター等を LAN 接続し、インターネット接続可能であることを確認ください。

※自作の LAN ケーブルは避け、市販の RJ45 コネクタ付き LAN ケーブルをご利用ください。RJ45 コネクタ部のカシメが不十分だと火花が発生し、火傷などの怪我や、火災の原因となる場合があります。

※設置を行う前に、PoE 対応 HUB の電源を OFF にしておいてください。



注 意

設置場所について

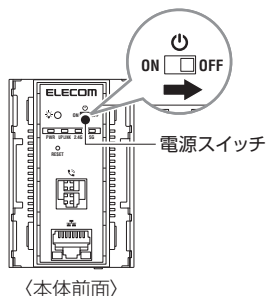
次のような場所には設置しないでください。火災や故障、感電による怪我などの原因になります。

- 熱器具や高熱を発するものの近く、直射日光が当たる外壁の内側など、高温になる場合がある場所
- 水などの液体がかかる恐れのある場所
- 腐食性ガスが発生する可能性のある場所

本製品をコンセントボックス内に取り付ける

コンセントボックス内への取り付けには、次の方法があります。

1 本製品前面にある電源スイッチを OFF にします。



注意

設置は、必ず本製品の電源スイッチを OFF にした状態で実施してください。

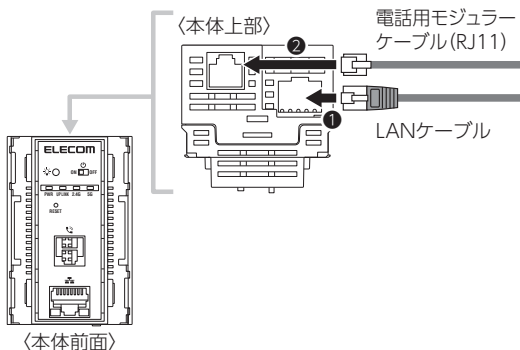
ON 状態で設置を行うと LAN ケーブル接続時に火花が発生し、火傷などの怪我や、火災の原因となる場合があります。

2 LAN ケーブル、モジュラーケーブルを接続します。

- ① 本体上部にある Up Link ポートに上位回線用 LAN ケーブル（ルーター、PoE 対応スイッチング HUB 側※）を接続してください。

※必ず PoE 給電が可能なスイッチング HUB と接続してください。

- ② 必要に応じて本体上部にある電話ポートに電話用モジュラーケーブル（RJ11）を接続してください。

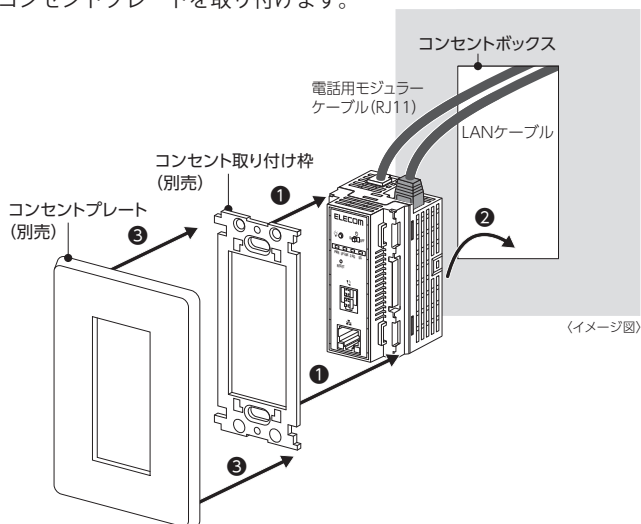


使用するケーブルについて

- ・本製品と PoE 給電機器との接続には、必ず CAT5e 以上の 4 対 UTP を使用してください。
- ・各 LAN ポートは Auto-MDIX 機能を備えていますので、ストレートケーブルまたはクロスケーブルを使用できます。

3 コンセントボックス内に設置します。

- ① 本体前面側より、ご使用になるコンセント取り付け枠をはめ込みます。
- ② コンセントボックスに本製品を取り付けます。
- ③ コンセントプレートを取り付けます。



注意

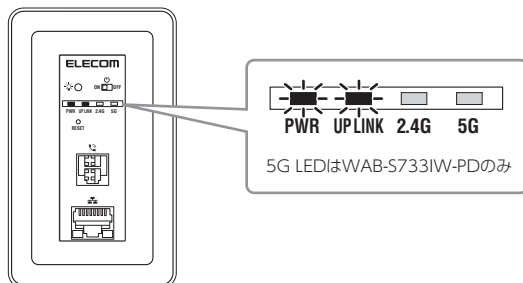
コンセント取り付け枠・コンセントプレートについて

市販されているコンセント取り付け枠によっては、ご利用いただけない製品もあります。現在本製品は以下の製品に対応しています。

〈対応取り付け枠〉 ● パナソニック株式会社製 フルカラー埋込取付枠 WN3700P
 〈対応プレート〉 ● JIS 規格対応市販品

4 本製品を起動します。

- ① PoE 対応 HUB の電源を ON にします。
- ② 本体前面にある電源スイッチを ON にします。
- ③ LED の点灯状態を確認します。



取り付け後、本製品が外れないことを確認してください。

注意

2 本製品と設定用パソコンを接続する

本製品の設定に使用するパソコンを接続します。

有線 LAN ポートを持つパソコンをご用意ください。



注意

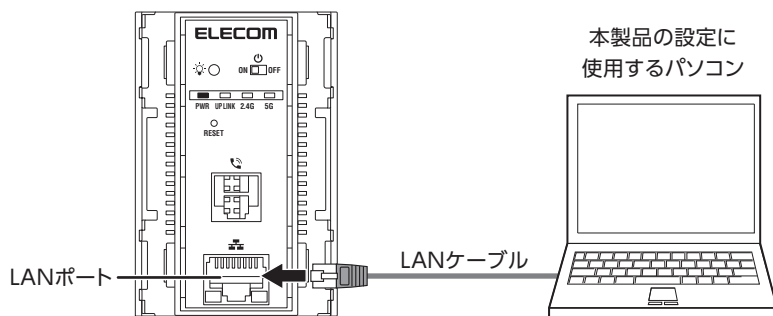
※本製品が動作している状態で設定を行ってください。

※初回の設定はインターネット接続用のルーター等を LAN 接続していない状態で実施ください。

※本製品設置後にルーター等を LAN 接続し、インターネット接続可能であることを確認ください。

1 本製品の設定に使用するパソコンを LAN 接続します。

本製品と本製品の設定に使用するパソコンを LAN ケーブルで接続します。



2 設定用パソコンのネットワークを設定します。

本製品の設定用パソコンのネットワークを次のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0



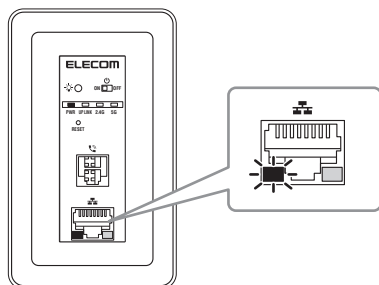
注意

- ・固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- ・本製品は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得していない場合、IP アドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- ・本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効（設定画面で有効にします）
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

3 本製品と設定に使用するパソコンが正しく接続されたかを確認します。

本製品の LAN ポート LINK ランプが緑色に点灯していることを確認します。



Chapter 3

.....

詳細設定編

1 設定画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンから Web ブラウザーを使って、本製品の設定画面に接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定画面に接続する方法を説明します。



本製品に接続するパソコンの IP アドレスについて

本製品の設定画面に接続するには、パソコンの IP アドレスが本製品の IP アドレスと同じセグメントである必要があります。パソコン側が IP アドレスを自動取得するように設定されている場合や、本製品とセグメントが異なる場合は、あらかじめパソコン側の IP アドレスを手動で割り当ててください。詳細は [P21「2 本製品と設定用パソコンを接続する」](#) を参照してください。

本製品の IP アドレス初期値 = 192.168.3.1



注 意

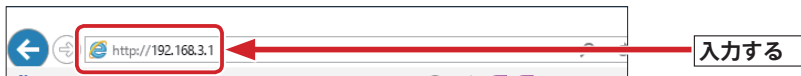
- ・ 固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- ・ 本製品は、DHCPサーバーからIPアドレスを取得していない場合、IPアドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- ・ 本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効（設定画面で有効にします）
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

設定画面を表示する

1 本製品に接続するパソコンで、Internet ExplorerなどのWeb ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに、キーボードから「http://192.168.3.1」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



- ・本製品の IP アドレス（初期値＝ 192.168.3.1）とパソコンの IP アドレスは、同じセグメント（192.168.3.xxx）である必要があります。
- ・ログイン画面が表示されます。



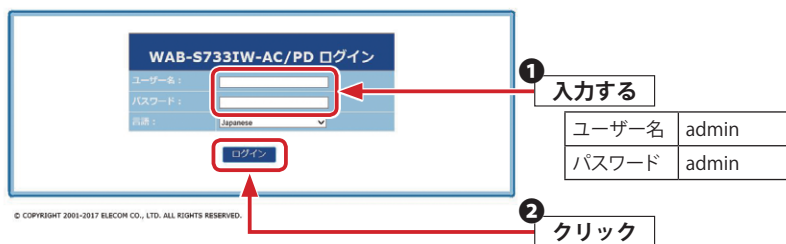
ログイン画面が表示されない場合

本製品の電源を入れて、約 3 分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。



「192.168.3.1」は、初期設定時に DHCP サーバーから IP アドレスを取得しない場合に本製品が自己設定する IP アドレスです。DHCP サーバーから IP アドレスを取得した場合やアドレス設定変更済みの場合は、その IP アドレスを入力してアクセスしてください。設定用パソコンの IP アドレスも、セグメントを合わせて設定してください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



- ・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。



「言語」で設定画面の表示言語を [Japanese]（日本語）または [English]（英語）にすることが可能です。

4 本製品の設定画面が表示されます。

ELECOM
セーブと再起動 0
ステータス
システム情報
2.4G 無線クライアント一覧
5G 無線クライアント一覧
システムログ
設定
無線 2.4GHz
無線 5GHz
管理

システム情報

システム情報	
装置名	WAB-S733IW-AC_PD
ファームウェアバージョン	1.0.03, 21, Aug, 2017
システム時間	2017年 8月24日木曜日 11:16:49
システム稼働時間	0 Day, 0:01:31

ネットワーク

MACアドレス	01:23:45:67:89:AB
IPアドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
プライマリDNSサーバー	0.0.0.0
セカンダリDNSサーバー	0.0.0.0

2.4GHz 無線

無線通信モード	2.4GHz 802.11 b/g/n
チャンネル帯域幅	自動 20/40 MHz
チャンネル	auto
TX (ノックアウト)	0 B (0 PKts.)
RX (ノックアウト)	0 B (0 PKts.)

5GHz 無線

無線通信モード	5GHz 802.11 a/n/ac
チャンネル帯域幅	自動 20/40/80 MHz
チャンネル	auto
TX (ノックアウト)	0 B (0 PKts.)
RX (ノックアウト)	0 B (0 PKts.)



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします。詳細は、[P49「管理者」](#)を参照してください。

設定画面

本製品に接続したときに表示される設定画面について説明します。

設定画面の左側に設定メニューがあります。このボタンをクリックするとサブメニューが表示 / 非表示され、メニュー（サブメニュー）をクリックすると画面右（設定内容エリア）にシステム情報や設定内容などが表示されます。

設定メニュー
設定内容エリア

ELECOM

セーブと再起動 0

ステータス

システム情報

2.4G 無線クライアント一覧

5G 無線クライアント一覧

システムログ

設定

無線 2.4GHz

無線 5GHz

管理

システム情報

システム情報	
装置名	WAB-S733IW-AC_PD
ファームウェアバージョン	1.0.03, 21, Aug, 2017
システム時間	2017年 8月24日 木曜日 11:16:49
システム稼働時間	0 Day, 0:01:31

ネットワーク	
MACアドレス	01:23:45:67:89:AB
IPアドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
プライマリDNSサーバー	0.0.0.0
セカンダリDNSサーバー	0.0.0.0

2.4GHz 無線	
無線通信モード	2.4GHz 802.11 b/g/n
チャンネル帯域幅	自動 20/40 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)

5GHz 無線	
無線通信モード	5GHz 802.11 a/n/ac
チャンネル帯域幅	自動 20/40/80 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)

設定メニューの内容

ここでは設定メニューの概要を説明します。

メニュー項目	内容
セーブと再起動	設定画面で行った変更内容の保存と本製品の再起動を実施します。
ステータス	本製品の状態を表示します。 システム情報 (→P43) 、 無線クライアント一覧 (→P45) 、 システムログ (→P46) があります。
設定	本製品の状態、有線LAN機能を設定します。 LAN側IPアドレス (→P47) があります。
無線	本製品へ無線接続するための機能を設定します。 基本設定 (→P30) 、 MACフィルター (→P41) 、 詳細設定 (→P33) 、 WPS (→P35) があります。
管理	本製品の管理情報の設定や表示をします。 管理者 (→P49) 、 設定を保存/復元 (→P50) 、 ファームウェア更新 (→P52) 、 日時 (→P53) 、 ログ (→P55) があります。

- ・ 有線 LAN の設定をするには [LAN 側 IP アドレス \(→ P47\)](#)
- ・ 無線 LAN の設定をするには [無線設定 \(→ P30\)](#)
- ・ 無線 AP の基本設定をするには [基本設定 \(→ P30\)](#)
- ・ 無線 AP の詳細設定をするには [詳細設定 \(→ P33\)](#)

2 設定をするために必要な手順

重 要

本製品の各設定の変更を行う場合は、各設定項目の内容を変更後に必ず、メニュー「セーブと再起動」での作業が必要となります。
下記の手順をお読みなり、実行してください。

セーブと再起動

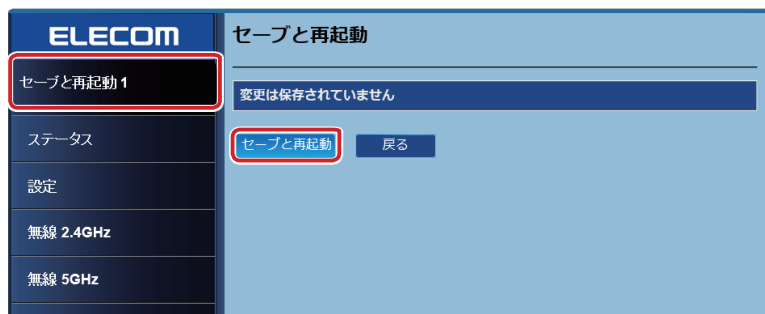
本製品は各設定項目で内容を変更した場合、[適用] ボタンで変更内容を一時保存し、さらに「セーブと再起動」画面にて「セーブと再起動」をクリックし、設定の保存と再起動を実行する必要があります。

設定メニューエリアの「セーブと再起動」メニューの後ろの数字は、設定変更されている項目数です。

「セーブと再起動」もしくは「戻る」を実施すると「0」に戻ります。



本作業を行わなければ、設定画面で行った設定変更が本製品に保存されません。ご注意ください。



セーブと再起動	このボタンをクリックすると、一時保存された変更内容を本製品に保存し、変更内容を反映させるため再起動を実行します。
戻る	このボタンをクリックすると、一時保存された変更内容を削除します。

3 無線設定

本製品の無線 LAN 機能を設定します。

基本設定

無線 LAN に関する基本事項を設定します。5GHz 帯 (WAB-S733IW-PD のみ) と 2.4GHz 帯の 2 つの帯域を個別に設定することができます。



画面左のメニューリストから [無線 2.4GHz] または [無線 5GHz] をクリックし、次に [基本設定] をクリックします。

5GHz / 基本設定

無線通信モード	5GHz 802.11 a/n/ac ▼
チャンネル帯域幅	自動 20/40/80 MHz ▼
拡張チャンネル	自動 ▼
チャンネル	自動 ▼

現在のプロファイル

有効化	SSID	セキュリティモード	編集
☒	elecom5g01-xxxxxx	WPA2-PSK AES	<button>編集</button>
☐			<button>編集</button>
☐			<button>編集</button>
☐			<button>編集</button>
☐			<button>編集</button>

適用

キャンセル

● 2.4GHz / 基本設定、5GHz / 基本設定

無線通信モード (2.4GHz)	2.4GHz帯の無線通信モードを次の中から選択します。無線LANの帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値:2.4GHz 802.11b/g/n) 2.4GHz 802.11 b: IEEE802.11b 規格だけを使用します。 2.4GHz 802.11 b/g: IEEE802.11b規格とIEEE802.11g規格を使用します。 2.4GHz 802.11 g: IEEE802.11g 規格だけを使用します。 2.4GHz 802.11 g/n: IEEE802.11g規格とIEEE802.11n規格を使用します。 2.4GHz 802.11 n: IEEE802.11n 規格だけを使用します。 2.4GHz 802.11 b/g/n: IEEE802.11b規格、IEEE802.11g規格、IEEE802.11n規格を使用します。
無線通信モード (5GHz)	5GHz帯の無線通信モードを次の中から選択します。無線LANの帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値:5GHz 802.11a/n/ac) 5GHz 802.11 a: IEEE802.11a規格だけを使用します。 5GHz 802.11 a/n: IEEE802.11a規格とIEEE802.11n規格を使用します。 5GHz 802.11 n: IEEE802.11n規格だけを使用します。 5GHz 802.11 n/ac: IEEE802.11n規格とIEEE802.11ac規格を使用します。 5GHz 802.11 ac: IEEE802.11ac規格だけを使用します。 5GHz 802.11 a/n/ac: IEEE802.11a規格、IEEE802.11n規格、IEEE802.11ac規格を使用します。
チャンネル帯域幅 (2.4GHz)	2.4GHz帯の無線LANが使用する帯域幅を次の中から選択します。 (初期値:自動 20/40 MHz) 「20MHz」、「自動 20/40 MHz」、「40MHz」 2つのチャンネルを設定する場合は、「自動 20/40MHz」または「40MHz」を選択してください。
チャンネル帯域幅 (5GHz)	5GHz帯の無線LANが使用する帯域幅を次の中から選択します。 (初期値:自動 20/40/80MHz) 「20MHz」、「自動 20/40MHz」、「40MHz」、「自動 20/40/80MHz」、「80MHz」 最大2つのチャンネルを使用する場合は「自動 20/40MHz」、最大4つのチャンネルを使用する場合は「自動 20/40/80MHz」を選択してください。
拡張チャンネル (2.4GHz, 5GHz)	拡張チャンネルを選択します。(初期値:自動) 「自動」、「Upper」、「Lower」 Upper: 上側波帯(チャンネル周波数の高い側)を使用します。 Lower: 下側波帯(チャンネル周波数の低い側)を使用します。 拡張チャンネルは、チャンネル帯域幅を「40MHz」に設定したとき、20MHz帯域幅のみをサポートするIEEE 802.11n無線クライアントや、従来規格の無線クライアントとの通信に使用されます。 ※本設定は、「無線通信モード」にIEEE 802.11nを含み、かつ使用帯域幅を「40MHz」、「自動20/40MHz」に設定した場合のみ設定可能です。
チャンネル(2.4GHz)	自動、Ch 1～13から選択可能。(初期値:自動)
チャンネル(5GHz)	自動、Ch 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chから選択可能。(初期値:自動)

●現在のプロファイル

有効化	無線LAN機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:無効) 無線通信を有効にするには、チェックボックスにチェックをつけます。
SSID	現在設定しているSSID名を表示します。
セキュリティモード	認証方法が表示されます。
編集	[編集] をクリックすると、「SSID プロファイル」画面が開き、SSID/ セキュリティの設定を追加・変更できます。最大 5 件登録可能です。

●ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

SSID プロファイル

無線 LAN で使用する SSID やデータの暗号化などのセキュリティ設定を行います。詳細は[「4 セキュリティを設定する \(無線の暗号化\)」](#)を参照ください。

詳細設定

無線 LAN の高度なオプション機能を設定できます。

これらの設定には無線 LAN に関する十分な知識が必要です。



画面左のメニューリストから [無線 2.4GHz] または [無線 5GHz] をクリックし、次に [詳細設定] をクリックします。

5GHz / 詳細設定

詳細設定	
データレート	自動
送信パワー	自動
RTS/CTS Threshold	2347 (範囲1~2347、デフォルトは2347)
ビーコン間隔	100 ms (範囲100~1000、デフォルト100)
DTIM	1 (範囲1 - 255、デフォルト1)
ガードインターバル	☒ 自動 ☐ Long
A-MPDU	☒ 有効化 ☐ 無効化

● 2.4GHz 詳細設定、5GHz 詳細設定

データレート	データ転送レートを選択します。(初期値:自動)
送信パワー	本製品が無線で送信するときの電波の出力強度を次の中から選択します。(初期値:自動) 「11dBm」、「12dBm」、「13dBm」、「14dBm」、「15dBm」、「16dBm」、「17dBm」、「18dBm」 本製品の電波の届く範囲を調整することができます。
RTS/CTS Threshold	RTS/CTS手順を行うときのサイズを0~2347の範囲で設定します。 (初期値:2347) 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、RTS/CTSを送信します。
ビーコン間隔	ビーコンフレームの送信間隔を100~1000msの範囲で設定します。 (初期値:100ms) ビーコンフレーム間隔を短くすると無線機器からの検出は早くなりますが、通信速度が低下する可能性があります。 通常は、初期値(100ms)で使用してください。

DTIM	省電力に関する情報を本製品から無線機器に送信する間隔を1～255の範囲で設定します。(初期値:1) 間隔が大きいくほど無線機器の省電力効果が増しますが、応答が遅くなります。ただし、無線機器の省電力の設定を有効にしていないと、この設定は無効です。
ガードインターバル	干渉を避けるための符号長の設定を次の中から選択します。 (初期値:自動) 自動: 符号長の付加時間を自動で切り替えます。 Long: 符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。
A-MPDU	A-MPDU機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:有効化)

● ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

WPS

WPS 機能の設定を行います。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [無線 2.4GHz] または [無線 5GHz] をクリックし、次に [WPS] をクリックします。

5GHz / WPS

WPS構成

WPS
☒ 有効
☐ 無効

適用

WPSサマリー

WPS現在状態	アイドル
WPS構成	はい
WPS SSID	elecom5g01-xxxxxx
WPSセキュリティモード	WPA2-PSK AES
WPSキー	XXXXXXXX
AP PIN	22414007

WPSアクション

PIN方式で接続を行う場合は、接続したい無線クライアントのPINを入力し[スタート PIN]ボタンをクリックした後で、無線クライアント側もPIN方式でWPSを実行してください。

PINによるWPS	スタートPIN
プッシュボタンWPS	スタート

● WPS 機能

WPS	WPS機能の「有効」または「無効」の設定をします。(初期値:有効)
-----	-----------------------------------

● ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
----	-----------------------------

● WPS サマリー

WPS現在状態	WPSの現在の状態を表示します。
WPS構成	WPS構成がされているかどうかを表示します。
WPS SSID	SSIDを表示します。
WPSセキュリティモード	認証モード、暗号化タイプを表示します。
WPSキー	本製品のWPSキーを表示します。
AP PIN	アクセスポイントのピンコードを表示します。

● WPS アクション

PINによるWPS	接続する無線子機のPINコードを設定します。PINコードを入力し、[スタートPIN]をクリックします。
プッシュボタンWPS	[スタート]をクリックすることで、WPS接続を開始できます。(このとき、PINコードの入力は必要ありません。)

4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)

無線 LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

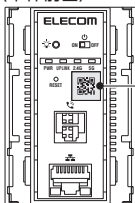
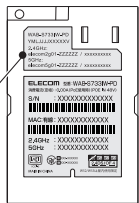
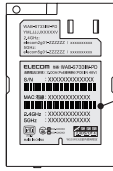
WPA2-PSK	基本的にWPAの技術の延長上にあり多くの共通性がありますが、暗号化プロトコルにCCMP (Counter-mode CBC-MAC Protocol) を採用し、暗号化アルゴリズムにAESを採用することでセキュリティが非常に強固になりました。WEPよりも高度な暗号化方式で、無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。
WPA/WPA2-PSK	データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 無線子機にWPA-PSKとWPA2-PSKが混在する環境の場合、この項目を選択すると両方の規格に対応できます。

●暗号化タイプ

AES	暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方でAES/CCMプロトコルに対応している必要があります。 認証方式で「WPA2-PSK」を選択した場合、この暗号化タイプになります。
AES/TKIP	TKIPとAESの認証および通信を同時に行います。ブロードキャスト/マルチキャスト通信では、TKIPを使用します。 認証方式で「WPA/WPA2-PSK」を選択した場合、この暗号化タイプになります。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値 (初期値)
SSID	elecom"周波数帯""SSID番号"-"MACアドレスの下6桁" ※"周波数帯"は、2.4GHz:2g、5GHz:5gとなります。 例えば、"周波数帯"が2.4GHz、"SSID番号"が1、"MACアドレスの下6桁"が12:34:56のときSSIDは、「elecom2g01-123456」となります。
SSID1	認証方式: WPA2-PSK
	暗号化タイプ: AES
	Pre-sharedキー: 機器ごと固有文字列
SSID2～5	認証方式: 認証なし
	暗号化タイプ: 表示されません。
	Pre-sharedキー: 表示されません。

項目	本製品の設定値(初期値)
SSID Pre-sharedキー	本体前面に貼り付けられているQRコードを読み取るか本体背面に貼り付けられているラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字です。 ●ラベル貼付け位置 〈本体前面〉  QRコード 〈読み取れる内容〉 ●型番 ●シリアル番号 ●SSID/セキュリティキー SSID/セキュリティキー (WAB-S733IW-PDの場合)  〈本体背面〉  WAB-S733IW-PD YMLJJJXXXXXV 2.4GHz: elecom2g01-ZZZZZZ / xxxxxxxxxxx 5GHz: elecom5g01-ZZZZZZ / xxxxxxxxxxx SSID/セキュリティキーのラベルは、製品に貼り付けのほか、1枚同梱しております。なくさないよう保管してください。
MACアドレス	本体背面に貼り付けられているデバイスラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の太文字です。 ●ラベル貼付け位置 〈本体背面〉  シリアル番号、MACアドレス (WAB-S733IW-PDの場合)  ELECOM 型番: WAB-S733IW-PD 消費電流(定格): 0.00A(PoE使用時)(PDE IN 48V) S/N : XXXXXXXXXXXXXXXX MAC: 有線: XXXXXXXXXXXXXXXX 2.4GHz : XXXXXXXXXXXXXXXX 5GHz : XXXXXXXXXXXXXXXX VCCI MADE IN CHINA WS2/WS3は屋内使用限定



注意

QRコードについて

本体正面に貼られているQRコードを読み取る際、ご利用のスマートフォンのカメラ性能及びQRコード読み取りアプリによっては読み取れない場合や正しく改行されない場合があります。弊社で読み取り可能を確認したアプリは次の通りです。

- ・ arara inc. 公式 QR コードリーダー “Q” (iPhone 用 /Android 用※)
- ・ MEDIASEEK Inc. QR コードリーダー アイコニット (iPhone 用 /Android 用※)
- ・ MixerBox Inc. 無料 QR コードリーダー (iPhone 用)

※読み取りは行えますが、正しく改行はされません。

セキュリティ

無線通信のセキュリティを設定します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから「無線2.4GHz」または「無線5GHz」をクリックし、次に「基本設定」をクリックします。基本設定画面にて「現在のプロファイル欄」にある対象のSSID 右側の「編集」をクリックします。

5GHz / SSIDプロファイル

ワイヤレス設定	
SSID	elecom5g01-xxxxxx
ブロードキャストSSID無効	☐
セパレーター機能	☒
有効化	☐
ワイヤレスセキュリティ	
セキュリティモード	WPA2-PSK(AES) ▼
WPA	
Pre-shared キー :	XXXXXXXXX x
キー更新間隔 :	3600 秒
適用 キャンセル	

●ワイヤレス設定

SSID	セキュリティを設定するSSID名を入力します。
ブロードキャストSSID 無効	無線LAN上の無線機器から本製品を検索可能にする機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値:有効)  注意 Windows XP (SP2) 以前の標準のワイヤレス接続機能で接続する場合は、必ず「有効」に設定してください。 チェックあり: 無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品のSSIDを直接入力する必要があります。 チェックなし: 無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャストSSIDを有効にする必要があります。

セパレーター機能	同一周波数帯に接続している無線機器間の通信制限を「有効」または「無効」であるかの設定をします。(初期値:有効)  セパレーター機能は、無線機器間に対する通信制御機能です。 注意 チェックあり: 同一周波数帯に接続しているすべての無線機器との通信を禁止します。 チェックなし: 無線機器間への通信制御を行いません。
有効化	無線機能の「有効」(チェックあり)または「無効」(チェックなし:初期値)を設定します。

●ワイヤレスセキュリティ

セキュリティモード	本製品へ接続された無線機器に使用する認証方式を設定します。 (初期値:WPA2-PSK (AES) ※SSID2~5は初期値:無効) WPA2-PSKを設定する場合は、接続する無線機器がWPA2に対応している必要があります。 WPA2-PSK (AES) : 基本的にWPAの技術の延長上にあり多くの共通性がありますが、暗号化プロトコルにCCMP (Counter-mode CBC-MAC Protocol)を採用し、暗号化アルゴリズムにAESを採用することでセキュリティが非常に強固になりました。 WEPよりも高度な暗号化方式で、無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 WPA/WPA2-PSK (AES/TKIP) : データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。 WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 無線子機にWPA-PSKとWPA2-PSKが混在する環境の場合、この項目を選択すると両方の規格に対応できます。 無効: 認証方式を設定しません。
-----------	---

● WPA

Pre-sharedキー	Pre-shared キー(事前共有キー)を入力します。(初期値:機器ごとに異なる固有の文字列が設定されています。 ※SSID2~5は初期値(空白))
キー更新間隔	Pre-shared キー(事前共有キー)の更新間隔を0~9999秒の範囲で設定します。(初期値:3600秒)

MAC フィルター

登録した MAC アドレスを持つ無線子機とのみ通信の「許可」または「拒否」の設定ができます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [無線 2.4GHz] または [無線 5GHz] をクリックし、次に [MAC フィルター] をクリックします。

● MAC フィルター

フィルターモード	本製品のMACフィルターモードを次の中から選択します。 (初期値:無効) 「無効」、「登録されたMACアドレスのアクセスを許可し、他のMACアドレスを拒否」、 「登録されたMACアドレスのアクセスを拒否し、他のMACアドレスを許可」
MACアドレス	MACフィルターに使用するMACアドレスを登録します。 MACアドレスは「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように半角コロン「:」で英数字2桁ずつを区切った書式で入力する必要があります。 「XX-XX-XX-XX-XX-XX」、「XXXXXXXXXXXX」のような、ハイフン「-」区切りや、区切り文字無しの書式では入力できません。

● ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

● MAC アドレスフィルタリングテーブル

MAC	本製品のMACフィルターに登録した無線子機のMACアドレスが表示されます。最大64台まで登録が可能です。
削除	MACアドレスを削除する場合は削除したいMACアドレスの [X] をクリックします。

無線子機（MAC アドレス）の登録方法

- ① 「MAC フィルター」の「MAC アドレス」欄に無線子機の MAC アドレスを入力し、「適用」をクリックします。

2.4GHz / MACフィルター

MACフィルター	
フィルターモード	登録されたMACアドレスのアクセスを拒否し、他のMACアドレスを許可 ▼
MACアドレス	00:11:22:33:44:55 x (Ex: 00:11:22:33:44:55)
適用	キャンセル
MACアドレスフィルタリングテーブル	
MAC	削除

- ② アラート画面が表示されますので、確認し「OK」をクリックします。

Web ページからのメッセージ

⚠ 2.4GHzのMACフィルター機能（許可または拒否）を有効にすると、2.4GHzのWPSは無効になります。

OK

- ③ 「MAC アドレスフィルタリングテーブル」に入力した MAC アドレスが追加されます。

2.4GHz / MACフィルター

MACフィルター	
フィルターモード	登録されたMACアドレスのアクセスを許可し、他のMACアドレスを拒否 ▼
MACアドレス	(Ex: 00:11:22:33:44:55)
適用	キャンセル
MACアドレスフィルタリングテーブル	
MAC	削除
00:11:22:33:44:55	x

- ④ 画面左のメニューリストの「セーブと再起動」にて「セーブと再起動」をクリックし、登録内容を本製品に反映させます。



複数の無線子機（MAC アドレス）を登録する場合

MAC アドレスを複数個登録するには、手順①～③を繰り返します。

MAC アドレスフィルタリングテーブルに登録したい MAC アドレスが表示されていることを確認し、手順④に進みます。

5 ステータスメニュー

本製品のシステム情報やログが表示されます。

システム情報

本製品のシステム情報を一覧表示します。

画面の
表示

画面左のメニューリストにて [ステータス] - [システム情報] の順にクリックします。

システム情報	
システム情報	
装置名	WAB-S733IW-AC_PD
ファームウェアバージョン	1.0.03, 21, Aug, 2017
システム時間	2017年8月24日木曜日 11:16:49
システム稼働時間	0 Day, 0:01:31
ネットワーク	
MACアドレス	01:23:45:67:89:AB
IPアドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
プライマリDNSサーバー	0.0.0.0
セカンダリDNSサーバー	0.0.0.0
2.4GHz 無線	
無線通信モード	2.4GHz 802.11 b/g/n
チャンネル帯域幅	自動 20/40 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)
5GHz 無線	
無線通信モード	5GHz 802.11 a/n/ac
チャンネル帯域幅	自動 20/40/80 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)

●システム情報

装置名	モデル名が表示されます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
システム時間	本製品の現在の時刻を表示します。
システム稼働時間	本製品のシステムが稼働している時間を表示します。

●ネットワーク

MACアドレス	本製品の有線ポートが使用するMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	本製品のIPアドレスが表示されます。
サブネットマスク	サブネットマスクが表示されます。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスが表示されます。
プライマリDNSサーバー	プライマリDNSサーバーのIPアドレスが表示されます。
セカンダリDNSサーバー	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスが表示されます。

●2.4GHz 無線、5GHz 無線

ワイヤレスモード	使用している無線通信モードを表示します。
チャンネル幅	無線LANが使用している帯域幅を表示します。
周波数(チャンネル)	使用しているチャンネルを表示します。
TX(パケット)	本製品と接続している無線機器に送信したデータ量(Bytes)が表示されます。
RX(パケット)	本製品と接続している無線機器から受信したデータ量(Bytes)が表示されます。

無線クライアント一覧

本製品と通信をしている無線機器の情報が表示されます。



画面左のメニューリストにて[ステータス]－[2.4G 無線クライアント一覧]または[5G 無線クライアント一覧]の順にクリックします。

5GHz / クライアント一覧

ワイヤレスネットワーク

NO.	MACアドレス	接続時間
1	12:34:56:78:9A:BC	00:33:22
2	23:45:67:89:AB:CD	00:02:18

●ワイヤレスネットワーク

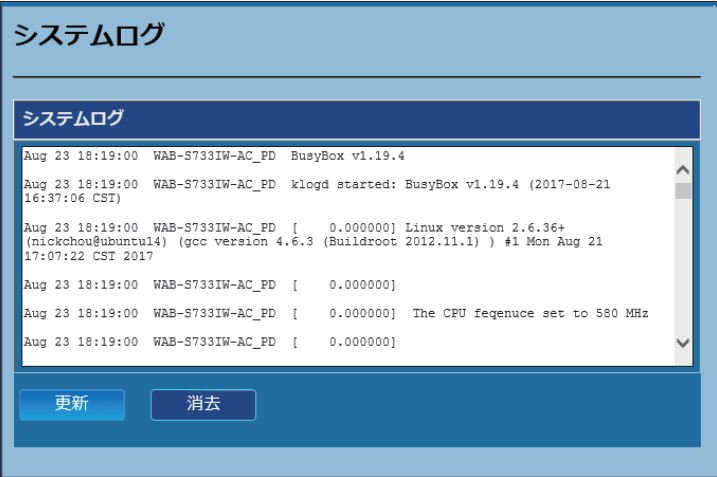
NO.	本製品と接続している無線機器の数が表示されます。
MACアドレス	本製品と接続している無線機器のMACアドレスが表示されます。
接続時間	本製品と接続している無線機器の連続接続時間が表示されます。

システムログ

システムの稼働状態などの情報を表示します。



画面左のメニューリストにて [ステータス] - [システムログ] の順にクリックします。



● ボタンの機能

更新	ログを最新の状態に更新します。
消去	表示されているログをすべて削除します。



ログ情報は、一定の情報が記録されると古い情報から削除されます。

6 設定メニュー

LAN 側 IP アドレス

有線 LAN の IP アドレスの割り当てなどについて設定します。

画面の
表示

画面左のメニューリストにて [設定] - [LAN 側 IP アドレス] の順にクリックします。

LAN側IPアドレス

LAN側IPアドレス

IPアドレス割り当て

静的IPアドレス

LAN インターフェース設定

IPアドレス

192.168.3.1

サブネットマスク

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

DNSサーバー

プライマリDNSサーバー

セカンダリDNSサーバー

適用

キャンセル

● LAN 側 IP アドレス

IPアドレス割り当て	IPアドレスの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値:DHCPクライアント) DHCPクライアント: DHCPサーバーからIPアドレスやサブネットマスクなどの必要な情報を自動的に割り当てます。 静的IPアドレス : IPアドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
------------	--

● LAN インターフェース設定

IPアドレス	静的IPアドレスを設定します。 (「IPアドレスの割り当て」の設定を[静的IPアドレス]とした場合) (初期値:192.168.3.1)
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 (「IPアドレスの割り当て」の設定を[静的IPアドレス]とした場合) (初期値:255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 (初期値:空欄)

● DNS サーバー

プライマリDNSサーバー	DNSサーバーのプライマリIPアドレスを設定します。(初期値:空欄)
セカンダリDNSサーバー	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを設定します。(初期値:空欄)

● ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

7 管理メニュー

本製品の管理情報の設定や表示をします。

管理者

本製品の設定画面にログインするためのアカウントについて設定します。

画面の
表示

画面左のメニューリストにて [管理] - [管理者] の順にクリックします。

●管理者設定

管理者名	設定画面のログイン時に使用するユーザー名です。 [admin] 固定です。
管理者パスワード	設定画面のログイン時に使用するパスワードです。(初期値:admin) 変更する場合は、半角英数字および記号で1～16文字の範囲で設定します。 空欄は設定できません。
アイドルタイムアウト	本製品へのアクセスタイムアウトの期間120～3600秒の範囲で設定します。 (初期値:180秒)



注 意

管理者パスワードはセキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめいたします。

●製品名設定

製品名	本製品の本体名称です。 この名称が、システムログなどで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」で1～32文字の範囲で設定します。 「_」、「/」は製品名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
-----	---

●ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

設定を保存 / 復元

本製品の現在の設定内容をパソコンに設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを本製品に復元したりします。



注 意

- ・設定を復元すると、IP アドレスや無線の暗号化キーなどが設定ファイルを保存したときの設定に戻るため、本製品に接続できなくなる恐れがあります。
- ・設定ファイルの保存時と復元時の管理者パスワードが異なる場合、設定ファイルを復元すると管理者パスワードも復元されます。設定ファイルを保存したときの本製品の管理者パスワードを忘れないように注意してください。本製品の設定操作ができなくなります。
- ・復元を実行すると、復元の失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。

画面の表示

画面左のメニューリストにて「管理」－「設定を保存 / 復元」の順にクリックします。

設定を保存 / 復元

設定をバックアップ

設定を保存

保存

設定を復元する

設定ファイルの場所

参照...

復元

キャンセル

初期化

工場出荷時設定

初期化

システム再起動

システム再起動

再起動

●設定をバックアップ

設定を保存	[保存]をクリックすると、本製品の現在の設定内容を設定ファイルとして保存します。 設定ファイルには、すべてのプロファイルで設定された情報が含まれます。 保存される設定ファイルの名前は次のとおりです。 「WAB-S (733または300) IW-AC_PD_config.bin」 例) WAB-S733IW-AC_PD_config.bin すでに設定ファイルが存在する場合は、「WAB-S (733または300) IW-AC_PD_config+ (X).cfg」(Xは数字。1から1ずつ増加)となります。 例) WAB-S733IW-AC_PD_config (6).cfg 設定ファイルにパスワードを設定する場合は、「パスワードを使用して設定ファイルを暗号化します。」をチェックし、パスワードを入力します。 パスワードは、半角英数字で1～32文字の範囲で設定します。 空欄は設定できません。 ※パスワードの文字列に記号を含む場合、復元が出来なくなる場合があります。 パスワードは数字とアルファベットで入力ください。
-------	--

●設定を復元する

設定ファイルの場所	復元するファイルを選択します。[参照]をクリックするとアップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存している設定ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
復元	クリックすると、設定ファイルを読み込み、設定内容の復元を開始します。  次の設定ファイルは、復元できません。 ・保存した設定ファイルのファームウェアバージョンが現在の本製品のファームウェアバージョンよりも新しい場合 ・設定ファイルが破損している場合
キャンセル	このボタンをクリックすると、キャンセルします。

●初期化

工場出荷時設定	[初期化]をクリックすると、本製品のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。
---------	--

●システム再起動

システム再起動	[再起動]をクリックすると、本製品を再起動します。
---------	----------------------------------

ファームウェア更新

本製品のファームウェアをアップデートします。ファームウェアをアップデートすると、機能の追加や不具合の改善などが実行されます。



注意

- ・ファームウェア更新中は、本体のLED が点滅します。LED の点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品の故障の原因になります。書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。
- ・当社が提供するファームウェアのアップデートファイル以外は使用しないでください。
- ・ファームウェアのアップデートを実行すると、アップデートの失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。



画面の表示

画面左のメニューリストにて「管理」－「ファームウェアの更新」の順にクリックします。

ファームウェア更新

重要な注意：ファームウェアのアップロードプロセスを中断しないでください。デバイスが損傷する可能性があります。ファームウェアのアップロードが完了し、デバイスが正常に再起動するまでお待ちください。

ファームウェア更新

ファームウェアのアップデートファイル: 参照...

アップデート キャンセル

ファームウェアの アップデートファイル

ファームウェアのアップデートファイルを選択します。
[参照...]をクリックすると、アップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存しているアップデートファイルを選択し、[開く]をクリックしてください。

※使用するWebブラウザにより画面表示が異なります。

上記画面はInternet Explorer11の場合になります。

- ・Firefox の場合

ファームウェア更新

ファームウェアのアップデートファイル: 参照... ファイルが選択されていません。

アップデート キャンセル

- ・Chrome の場合

ファームウェア更新

ファームウェアのアップデートファイル: ファイルを選択 選択されていません

アップデート キャンセル

アップデート

クリックすると、ファームウェアのアップデートファイルを読み込み、ファームウェアの更新を開始します。



次の場合は、ファームウェアのアップデート時にエラーになります。

- 注 意**
- ・別機種の無線親機のアップデートファイルの場合
 - ・アップデートファイルが破損している場合



詳細な手順は、[P56「Chapter4：ファームウェア更新手順」](#)を参照ください。

日時

本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。



注 意

本製品の内部時計は、本製品の再起動または電源が切断すると初期値に戻ります。



画面の表示

画面左のメニューリストにて「**管理**」－「**日時**」の順にクリックします。

日時**現在時刻**

システム時間 2016年8月3日水曜日 08:42:46

タイムゾーン (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京 ▼

NTPタイムサーバー

NTPを使用する

**日時設定**

日付と時刻の設定

2017 ▼ 年 8 ▼ 月 29 ▼ 日
13 ▼ 時 48 ▼ 分 23 ▼ 秒

適用

キャンセル

●現在時刻

システム時間	本製品の現在の時刻を表示します。
タイムゾーン	本製品のタイムゾーンを設定します。 (初期値: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京)

●NTP タイムサーバー

NTPを使用する	NTP機能を使用する場合は「有効」をチェックします。(初期値: チェックなし)
----------	---

●日時設定

日付と時刻の設定	本製品の内部時計の日付と時刻を年月日は西暦、時刻は24時間制で設定します。 設定できる範囲は、2000年から2037年です。 例) 2017年8月29日13時48分23秒
----------	---

●ボタンの機能

適用	このボタンをクリックすると、変更内容を保存・反映します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルします。

NTP タイムサーバーを使用する

NTP 機能を使用する手順は以下のとおりです。

- 1 「NTP を使用する」にチェックを入れます。
- 2 「サーバー名」で NTP サーバーを選択します。

pool.ntp.org	NTP Pool Projectにより運営されているNTPサーバー群の仮想クラスターです。
time-a.nist.gov	アメリカの国立標準技術研究所が提供する NTP サーバーです。
time-b.nist.gov	アメリカの国立標準技術研究所が提供する NTP サーバーです。
time.nist.gov	アメリカの国立標準技術研究所が提供する NTP サーバーです。
time.windows.com	Microsoftが提供するNTPサーバーです。

- 3 「更新間隔」で NTP サーバーへの時刻確認の間隔を 60 ～ 3600 分の範囲で設定します。(初期値: 300 分)
- 4 [適用] をクリックします。



NTP サーバーを正しく設定することによって、再起動または電源オン時に時計を自動的に調整することができます。

ログ

本製品のシステムログを表示するかどうかを設定します。



画面左のメニューリストにて **「管理」** - **「ログ」** の順にクリックします。

ログの表示	システムログ表示機能の「有効」または「無効」の設定をします。(初期値:有効)
適用	このボタンをクリックすると、変更内容を一時保存します。

ログの表示が「無効」の場合、「ステータス」メニューの「システムログ」は次のように表示されます。

Chapter 4

.....

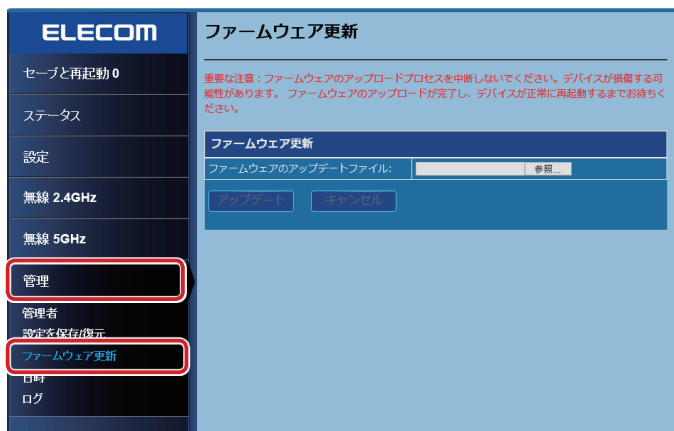
ファームウェア更新手順

1 ファームウェア更新

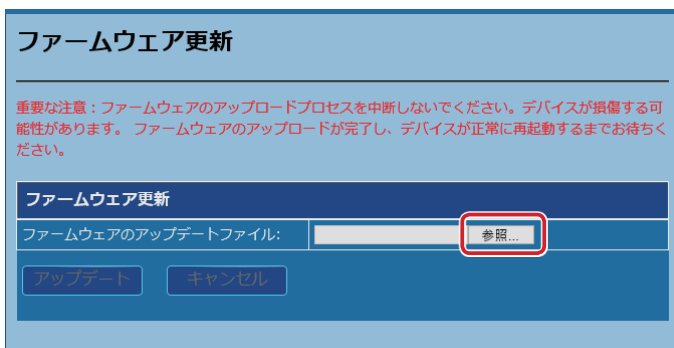
ファームウェア更新

- 1 更新するファームウェアをエレコムホームページより入手いたします。
お手持ちの機種に対応したファームウェアをエレコムホームページよりダウンロードし、お客様のパソコン（管理用 PC）上に保存してください。

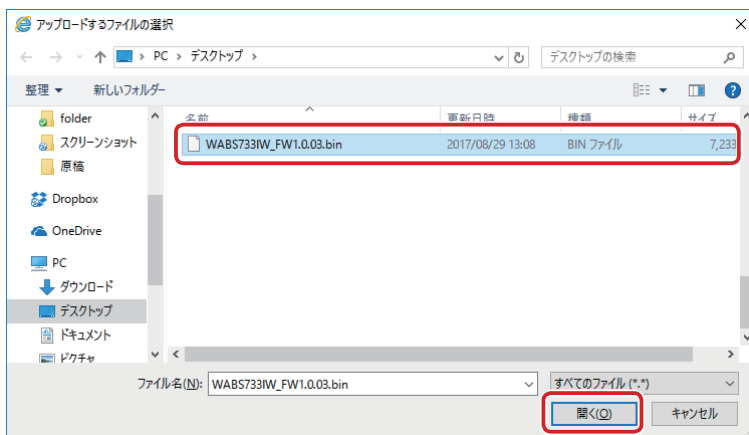
- 2 ファームウェア更新画面を表示します。
「管理」→「ファームウェア更新」をクリックします。



- 3 更新するファームウェアを選択します。
[参照 ...] をクリックします。



「アップロードするファイルの選択」画面で更新するファームウェアファイルを選択し、[開く] をクリックします。



選択したファイル名が「ファームウェアのアップデートファイル」欄に反映されていることを確認します。

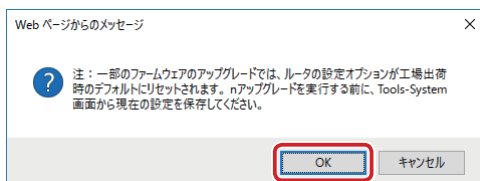


4 ファームウェアのアップデートを実施します。

アップデートをクリックします。



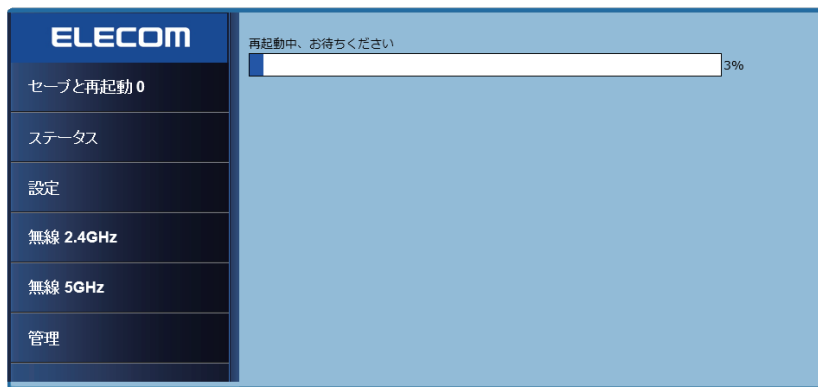
表示された画面の内容を確認し [OK] をクリックします。



再度、ファームウェアのアップデート更新の確認画面が表示されますので、[OK] をクリックします。



再起動中の画面が表示されますので、完了するまでそのままお待ちください。



5 ファームウェアの更新完了

ファームウェアの更新が完了しましたら、自動的再起動後、システム情報画面が表示されます。

ELECOM
セーブと再起動 0
ステータス
システム情報
2.4G 無線クライアント一覧
5G 無線クライアント一覧
システムログ
設定
無線 2.4GHz
無線 5GHz
管理

システム情報

システム情報	
装置名	WAB-S733IW-AC_PD
ファームウェアバージョン	1.0.03, 21, Aug, 2017
システム時間	2017年 8月24日 木曜日 11:16:49
システム稼働時間	0 Day, 0:01:31

ネットワーク

MACアドレス	01:23:45:67:89:AB
IPアドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
プライマリDNSサーバー	0.0.0.0
セカンダリDNSサーバー	0.0.0.0

2.4GHz 無線

無線通信モード	2.4GHz 802.11 b/g/n
チャンネル帯域幅	自動 20/40 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)

5GHz 無線

無線通信モード	5GHz 802.11 a/n/ac
チャンネル帯域幅	自動 20/40/80 MHz
チャンネル	auto
TX (パケット)	0 B (0 PKts.)
RX (パケット)	0 B (0 PKts.)

以上でファームウェアの更新が完了です。

Appendix

.....

付録編

1 基本仕様

●規格

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
EMI規格	VCCIクラスB	
安全規格準拠	IEC61000-4	
電波法に基づく技術基準	TELEC	

●無線部

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
準拠規格(国際規格)	<2.4GHz帯> IEEE802.11n IEEE802.11g IEEE802.11b <5GHz帯(W52/W53/W56)> IEEE802.11ac IEEE802.11n IEEE802.11a	<2.4GHz帯> IEEE802.11n IEEE802.11g IEEE802.11b
準拠規格(国内規格)	ARIB STD-T66 ARIB STD-T71	ARIB STD-T66
周波数帯域	2400 ～ 2483.5MHz 5150 ～ 5350MHz 5470 ～ 5725MHz	2400 ～ 2483.5MHz
変復調方式	802.11ac/n : MIMO-OFDM 802.11a/g : OFDM 802.11b : DS-SS	802.11n : MIMO-OFDM 802.11g : OFDM 802.11b : DS-SS
情報偏重方式	802.11ac : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM, 256QAM 802.11a/g/n : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM 802.11b : DQPSK, DBPSK	802.11n/g : BPSK, QPSK, 16QAM、 64QAM 802.11b : DQPSK, DBPSK
アンテナ方式	内蔵	
データ通信速度	802.11ac : MCS データレート自動切替 : 最大 433Mbps 802.11n : MCS データレート自動切替 : 最大300Mbps 802.11a/g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替 802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動切替	802.11n : MCS データレート自動切替 : 最大300Mbps 802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替 802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動切替

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
チャンネル数	<2.4GHz帯> IEEE802.11n : 13 チャンネル IEEE802.11g : 13 チャンネル IEEE802.11b : 13 チャンネル <5GHz帯(W52/W53/W56)> IEEE802.11ac : 19 チャンネル IEEE802.11n : 19 チャンネル IEEE802.11a : 19 チャンネル	<2.4GHz帯> IEEE802.11n : 13 チャンネル IEEE802.11g : 13 チャンネル IEEE802.11b : 13 チャンネル
空中線電力	10mW/MHz 以下	
接続台数	最大50台(2.4GHz:25台、5GHz:25台)、 推奨25台(2.4GHzと5GHzの合計台数)	最大25台

●規格

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
認証方式	WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	
暗号化	WPA/WPA2:TKIP、AES	
MACアドレスフィルタリング数	64個	
サポート機能	電波出力調整、SSID隠蔽、STAセパレーター	

●管理機能

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
管理機能	Web UI、ロギング、設定ファイルのバックアップと復元、ファームウェア更新	

●有線部

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
準拠規格	IEEE 802.3: 10BASE-T IEEE 802.3u: 100BASE-TX IEEE 802.3ab: 1000BASE-T IEEE 802.3at/IEEE802.3af: Power over Ethernet	IEEE 802.3: 10BASE-T IEEE 802.3u: 100BASE-TX IEEE 802.3ab: 1000BASE-T IEEE 802.3at/IEEE802.3af: Power over Ethernet
データ通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps	
ポート	10/100BASE-TX (RJ-45型8極コネクタ) × 2 ※うち1ポートはPoE受電ポート	10/100BASE-TX (RJ-45型8極コネクタ) × 2 ※うち1ポートはPoE受電ポート
オートネゴシエーション	Auto MDI/MDI-X対応	

●LED

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
PWRランプ (青色)	点灯:本体の電源が入っており稼働状態です。 消灯:本体の電源が切れた状態です。	
UP LINKポートランプ (青色)	点灯:上部LANポートへ接続された上位HUB等のネットワーク機器とリンクが確立した状態です。 点滅:上部LANポートにてデータ転送中の状態です。 消灯:上部LANポートに上位HUB等のネットワーク機器が接続されていません。	
2.4G WLAN ランプ (青色)	2.4GHz帯WLAN(11n/g/b)の接続状況を表示します。 点灯:WLANが利用可能な状態です。 消灯:WLANが無効な状態です。	
5G WLAN ランプ (青色)	5GHz帯WLAN(11n/g/b)の接続状況を表示します。 点灯:WLANが利用可能な状態です。 消灯:WLANが無効な状態です。	—
LANポートLINKランプ (緑色)	点灯:本体前面にあるLANポートに接続されたPC等と接続状態です。 消灯:本体前面にあるLANポートに接続されたPC等と未接続状態です。	
LANポートACTIVEランプ (黄色)	点滅:本体前面にあるLANポートにてデータ通信中の状態です。	

●電源部

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
電源	PoE (IEEE802.3af対応)	
消費電力(定格)	5.1W	3.7W

●一般仕様

機種	WAB-S733IW-PD	WAB-S300IW-PD
環境条件	動作時温度	0～40℃
	動作時湿度	10～90% (結露なきこと)
	保管時温度	-20～60℃
	保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法	幅45.5mm×奥行42.7mm×高さ68.5mm	
質量(本体のみ)	約81g	約81g
パッケージ内容	製品本体 1台、LANポート保護キャップ 1個、マニュアル1枚(クイックセットアップガイド)、SSID情報シール 1枚、シリアルシール 2枚	

2

SSID/Pre-shared キーに使用できる文字

以下の数字・アルファベット・記号の文字を、SSID/Pre-sharedキーの文字列として利用することができます。

文字は半角文字で入力ください。全角文字は利用できません。

数字 (0～9全て)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
アルファベット (小文字a～z、大文字A～Z全て)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~ (スペース) 注: (スペース)は最初の文字または最後の文字として利用できません。



法人向けマルチメディアコンセント対応 無線 LAN アクセスポイント

WAB-S733IW-PD / WAB-S300IW-PD

ユーザーズマニュアル

発行 **エレコム株式会社**

2018 年 3 月 7 日 第 1.1 版